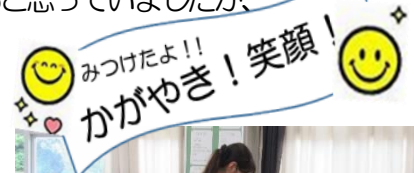




暑い日が続き、秋は、まだまだ遠いなあと思っていたのですが、先週末、6年生の教室では、書写の授業で「中秋の名月」という課題に取り組んでいました。

五文字なので、文字の大きさやバランスを考え、配置に気をつけて書いていました。とても静かに、一文字書き上げて「ふう〜」と息を吐く表情に真剣さが伝わってきました。



この日は、思いがけず、教室で秋の訪れを感じましたが、今週末は、秋分の日ですね。学級園の周りには、又スビトハギの花が咲いていました。自然の中の秋の訪れも見落とさずに楽しんでいきたいものです。今年の中秋の名月は、9月29日(金)だそうです。澄んだ空に美しい満月を愛でられるといいですね。

地域から森下さん(やさにしっ子応援隊)が、さっそく書写の指導支援に来てくださいました。二学期も地域からお力を借りて、きめ細やかな指導や質の高い授業を目指していきます。

夢の実現は、よりよい生活習慣づくりから

二学期、各学年で行われた発育測定の後、養護教諭から生活リズム向上に関わる保健指導を行いました。

子どもたちは、自分の生活を振り返りながら、「朝ごはん」が、学習や運動といった活動のエネルギーになっていることを学んだり、「寝不足」が生活に及ぼす影響を考え合ったりしました。



また、保護者の皆さまには、夏休み中に、「メディアの使い方チェックデー」の取り組みにご協力いただき、ありがとうございました。取り組まれたメディアルールを一部紹介します。

保護者アンケート「メディアの使用時間を減らすために有効だった手段」には、次のような回答がありました。

- ・30分に一回は目を休ませる。(6年生)
- ・スマホを夜9時以降と食事中は使わない。(3年生)
- ・宿題をやったページ数×ゲーム時間5分。(5年生)
- ・ゆうちゅうぶをみるときは、じかんをきめてみる。(2年生)
- ・どくしょをしてから、ゆうちゅうぶ。(1年生)

- ・外遊びに連れ出す。
- ・見守り設定で時間を制限する。
- ・不必要にテレビをつけない。
- ・楽しめるものを用意する。
- ・切りの良い時に声をかけて見終わるのを見届ける。
- ・「〇〇時間しかダメだよ」と数字で決めると本人や保護者が時間のカウントをする必要が出たり、子どもが途中で止めづらいが、「〇〇時間は見てもいいよ」と決めた方が自発的にメディア視聴をやめやすかった。

子どもたちが自分の健康を考え、その自主的な取り組みとなるよう各ご家庭でルールやかかわり方に工夫をされていることを感じました。



子どもたちが、夢の実現に向け、自らよりよい生活づくりができるよう、これからも学校と保護者・地域が連携していきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひします。

～命を守る教育～

避難訓練 9/6



二学期が始まるとすぐに、避難訓練を行いました。

「通常の授業中に震度4の地震の発生」を想定し、担任以外の教諭による誘導や特別教室からの避難の訓練を行いました。子どもたちは、「お・は・し・も（おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない）」の約束を守り避難し、避難後もとても静かに並び、待つことができていました。

私（校長）からは、「減災」という言葉をつかい、自然災害が起こることを防ぐことは難しくとも、日常の備え次第で、「命を守り、被害を減らすこと」はできることを伝えました。

話をしている間、うなずきながら話を聴いているたくさん子どもたちと目が合いました。是非、ご家庭でも、災害への備えについて話し合ってくださいと思います。

防犯教室 9/12

北警察署から柴田警部補を講師にお招きし、低学年と高学年に分かれ、二部制で防犯教室を行いました。

子どもたちは、犯罪から身を守るために合言葉にしている「いかのおすし（いかない・乗らない・大声を出す・すぐ逃げる・知らせる）」を体験的に学びました。



各学年ごとの大声を出す練習



練習「こんなときどうする」

- ・道に迷った教えて
- ・久しぶり、送ってあげる
- ・おじさんとあそぼ



最後に、柴田さんは「この日は、身近にいるかもしれない“悪い大人”の話をしました。みんな（子どもたち）の周りにいるお家の人、先生や近所の人、みんなのことを心から大切にしてくれる良い大人の人です」としめくくってくださいました。

防犯教室の後半には、警棒等の警察官が携帯しているものを見せていただいたり、警察官の仕事について子どもたちからの質問に答えていただいたりしました。

◆ お知らせとお願い ◆

明日（9/22）の5限目は、授業参観を予定しております。お忙しいとは存じますが、是非参観くださいますようお願いいたします。

また、6限目は、子どもの未来を語る会の第一部としてKUNI-KENの松永訓明さんをお招きし講演会を開催します。高学年の子どもたちとともに、好きなことをもつことやそのために、自分の生活を見つめ直すこと等を考える機会としていただけたらと思います。第二部の“語る会”とともにご参加をよろしくお願いたします。